

トマス・ハーディ

10 収穫祭の宴^{うたげ}

(1850 年ころ)

ネルとほかの娘たちは 納屋の中で
スコッチ・グレイ
竜騎兵たちと とても上手に踊った
兵隊たちは 収穫祭の宴^{うたげ}に招かれていた
小麦に映える 赤い軍服

ネルとほかの娘たちは 納屋の隅のベンチに 5
並んで座った
先ずネルが 昔の民謡^{バラッド}をうたった
聞いて覚えた歌だった

裏切り者サー・ジョン
魔法をかけて勝った恋人 10
オウムと輝く鳥籠の民謡^{バラッド}をうたった
ほかの娘たちも歌に加わった

そのとき兵隊が なれなれしくネルに囁いた
「君 あの民謡^{バラッド}をもう一度うたってくれないか
かわいい口で こんなに上手にうたう人は 15
どこにもいないよ」

ネルがもう一度 口を開こうとしたとき
暗闇の中にいたネルの恋人が
暗い納屋のドア越しに ため息をついた
ひと月前に埋葬されたのに 20

「ああ ネルよ 僕は土の中にいるのに
よくも民謡^{うた}などうたえるものだ
昔の恋人たちの裏切りの民謡^{うた}を
あの日 僕に誓ったことを忘れたのか

- 「厚かましい兵隊どもと よくも踊れるものだ
ダンスのあとは 君の細い腰を抱き
口づけをするというのに
昔の愛の誓いなどなかったように」 25
- ネルは叫んだ 「私の心に何か突き刺さったわ
壁の外に何かいて 30
草の生い茂る塚の方へ 私を手招きするの
もうこれ以上 うたえないわ
- 「昔の恋人が あの頃の姿のまま
蛆虫の中から ^{よみがえ}蘇ってきたの
だからもう 放蕩なだて男たちの腕に 35
抱かれる訳にはゆかないわ」
- 楽しい宴^{うたげ}から ネルは家へ連れ戻された
寝ても悪夢にうなされた
「もう二度と踊ったり うたったりしないわ」
ネルは嘆いた 「それに結婚もしません」 40

(近藤和子訳)